

【会 告】

## 第53回日本病院・地域精神医学会総会について

—お知らせと演題募集のご案内—

基本テーマ：『 **We are not ALONE** 』  
～ 多様な病・多様な試み ～

《期日》2010年11月5日（金）～6日（土）

《会場》ホテルメトロポリタン エドモント

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-8

JR飯田橋駅より徒歩約5分

第53回日本病院・地域精神医学会総会は東京の中心、飯田橋で開催される事となりました。アクセスの大変良いところで観光にも最適です。ホテルからはディズニーランドへの直通バスもあります。足をはこんでみてはいかがでしょうか。

さて、改めて社会情勢を見渡しますと、経済、社会そして産業活動のグローバル化、ボーダーレス化が起り、それに伴うコミュニケーションの変容が引き起こされています。また日本の政界では50年ぶりとなる政権交代があり、経済では100年に一度と言われる金融危機と不況を生じ、“派遣切り”に代表される雇用不安。自殺は11年連続して3万人を超えています。社会の基礎となる家族や世帯のあり方も、進行する高齢化と単身世帯化によって、大きく揺さぶられています。そして精神障害者の数は近年急激な増加を示し、400万人に達しようとしています。

そうした背景の中で、病院・地域では統合失調症に限らず、感情障害などのストレス性疾患や認知症、アディクションなど多種多様な疾病群へのアプローチが必要になってきています。また一方で制度が追いつかず、その狭間に落ち込んでしまう当事者の方々がいることを感じています。

私たちは、激変する時代・社会状況と障害者に対して、援助者としてのアプローチを考えていく中で、“孤立”と“多様性”というキーワードを選び出しました。いま病を抱える人たちは、これまでの支援体系に収まりきらないような多種多様なニーズを持ちながら、その一方で家族・職場・学校等のあらゆる場面で孤立を深めていると感じられます。そうした人々を孤立させないような支援とネットワークづくりが、いま求められています。その意味を含め、今学会のメインテーマを「We are not ALONE ～多様な病・多様な試み～」と決定しました。テーマに合わせ、多種多様な実践や発表が集まることを期待しております。

2010年3月

第53回総会 会長 新貝憲利  
同 事務局長 辻脇邦彦

## プログラム予定

### 特別講演

(仮)「われ、ただ足るを知る」

板橋興宗禅師

基本テーマと関連した分科会を計画しております。(現在調整中)

#### ■ 分科会①障害（急性期・早期介入）

➤ シンポジウム①急性期

◇

➤ ランチョン①急性期

◇

#### ■ 分科会②障害（社会復帰・地域）

➤ シンポジウム①社会復帰

◇

➤ ランチョン①社会復帰

◇

#### ■ 分科会③感情障害（ストレス緩和）

➤ シンポジウム②感情障害（ストレス）

◇

➤ ランチョン②感情障害（ストレス）

◇

➤ 公開市民講座②感情障害（ストレス）

◇

#### ■ 分科会④アディクション

➤ シンポジウム③アディクション

◇

➤ ランチョン③アディクション

◇

#### ■ 分科会⑤認知症

➤ シンポジウム④認知症

◇

➤ ランチョン④認知症

◇

➤ 公開市民講座④認知症

◇

## ■ その他、シンポジウム・セミナー・講演について

「心神喪失者医療観察法関連」(仮称)

「診療報酬関連」(仮称)

「自立支援関連」(仮称)

等

## ■ 一般演題

分科会を越え広く演題を募集します。参加者の相互理解と交流を目的として、十分な発表時間(10分程度)と討論時間(5分程度)を保証して、広く募集したいと考えています。演題申込キーワード(8ページ参照)を参考にご応募下さい。なお、調整はプログラム委員会にご一任願います。

## ■ 交流コーナー

参加者の関心が高い問題についてじっくりと時間をかけて(60~90分)討論を行い、交流を深めるコーナーです。交流コーナーにおいて議論する企画・テーマを募集します。奮って御応募ください。

## ■ 夜間交流集会

さまざまなテーマごと、それぞれの立場・職種ごとに集まって話し合う交流会を数多く設け、全国から集まった皆さんとの交流を深めたいと思います。交流会の企画を募集します。テーマや趣旨を簡単に書いていただければ結構ですので、積極的に御応募下さい。同じようなテーマや企画が複数見られた場合には、運営委員会の方で調整し、応募者の方に御連絡します。

## 一般演題，交流コーナー，夜間交流集会 募集要項

### 1. 応募方法

演題発表を希望される会員の方は以下の事項をよく読んで上で、パーソナル・コンピュータで『演題抄録ファイル』と『演題登録ファイル』を作成した上で、電子メールに抄録ファイルと登録ファイルを添付して、下記のメールアドレスまで送付してください。今回の学会では、従来の紙媒体の抄録は受け付けません。受け付けるものは電子メール媒体の抄録のみです。くれぐれも御注意ください。なお、一般演題の発表時間は10分程度、質疑応答は5分程度を予定しています。

#### (1) 演題抄録ファイルの作り方

演題抄録ファイルとは、これまでの学会における抄録原稿に相当するものです。演題抄録ファイルは「Word」または「一太郎」を使用して作成するものであり、

- ① 演題名（75字以内）
- ② 発表者（8名以内）の名前、所属、職種または立場
- ③ 抄録本文（1000字以内）

の3項目全てを、必ず記入してください。

①～③が完全に記入されていなかった場合には、演題を受け付けることができない場合があります。

演題抄録ファイルの作成にあたっては、学会ホームページ（後述）より『演題抄録ファイル（記入用：Word形式）』あるいは『演題抄録ファイル（記入用：一太郎形式）』をダウンロードして同じホームページに掲載されている『演題抄録ファイル見本』を参考に作成されるか、あるいはこの会告の9ページに掲載されている見本を参考に制作してください。

#### (2) 演題登録ファイルの作り方

『演題登録ファイル』は、これまでの学会における演題申込用紙に相当するものです。演題抄録ファイルも「Word」または「一太郎」を使用して作成するもので、

- ① 演題名（75字以内）
- ② 学会で実際に発表する人の名前と所属
- ③ 連絡先（電子メールアドレス、およびFax番号）
  - 演題登録確認、および演題採否通知などに際しての御連絡のために使用します
  - 原則として、電子メールによりこれらの御連絡をいたしますが、誤ったメールアドレスが記入される危険性に備え、Fax番号も記入してください
- ④ 希望される発表形式：一般演題，交流コーナー，夜間交流集会のいずれを希望されるかを記入してください
- ⑤ キーワード番号：この学会会告の8ページ，あるいは学会ホームページに記載されている『演題申込用キーワード』より抄録の内容に沿って3つを選択してください。
- ⑥ その他の連絡事項

以上①～⑥を記入します。これら6項目のうち、①～⑤の5項目については必ず記入してください。①～⑤が完全に記入されていなかった場合には、演題を受け付けることができない場合があります。

演題登録ファイルの作成にあたっては、学会ホームページ（後述）より『演題登録ファイル（記入用：Word形式）』あるいは『演題登録ファイル（記入用：一太郎形式）』をダウンロードして、同じホームページに掲載されている『演題抄録ファイル登録』を参考に作成されるか、あるいはこの会告の10ページに掲載されている見本を参考に制作してください。

### (3) 演題の登録のしかた

(1)と(2)で作成した『演題抄録ファイル』と『演題登録ファイル』を電子メールに添付して、下記の演題申し込み用電子メールアドレスまで送付してください。

**演題申し込み用メールアドレス     [byochi53@mhcg.or.jp](mailto:byochi53@mhcg.or.jp)**

### (4) 非会員の方の演題申し込みについて

本学会における発表は原則として学会員の方に限られています。したがって非会員の方であっても応募は可能ですが、演題を実際に学会で発表する方は少なくとも当会に入会していただく必要があります。

非会員の方が演題を申し込む場合には、以下の通りにしてください。

- ・ まず上記の(1)～(3)の方法に従って、演題を登録してください。
- ・ 演題登録に際して、(2)の『演題登録ファイル』における「⑥ その他の連絡事項」に「現在会員ではないので、入会を希望する」旨を記載してください。
- ・ 学会ホームページ（後述）より『日本病院・地域精神医学会入会申込書』をダウンロードするか、あるいはこの学会会告の11ページに記されている『日本病院・地域精神医学会入会申込書』をコピーして、必要事項を記入し、学会事務局までFax、あるいは郵送してください。
- ・ 『日本病院・地域精神医学会入会申込書』が学会事務局に届き次第、学会事務局より入会手続きの御案内をいたします。学会総会当日までに入会手続きをお取り下さい。年会費は12,000円です。学会入会に関して御質問のある方は学会事務局まで御連絡ください。

### (5) 演題発表形式の変更の可能性について

一般演題、交流コーナー、夜間交流集会の演題数により、発表の枠を相互に調整する場合があります。また、応募演題が多数の場合は、ポスターセッションに変わっていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

(6) 演題登録に関する問い合わせ先

演題登録に関する問い合わせ先は以下の通りです。電子メールによる問い合わせのみ対応いたします。

〒175-0091 東京都板橋区三園 1-19-1  
医療法人 社団翠会 成増厚生病院 内  
第53回 日本病院・地域精神医学会総会事務局  
事務局長：辻脇邦彦

**E-mail : byochi53@mhcg.or.jp**

(7) 学会入会、および会費納入に関する問い合わせ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-6-1 四谷サンハイツ 609  
日本病院・地域精神医学会事務局  
TEL/FAX : 03-3351-8030  
E-mail : info@byochi.org

## 2. 抄録作成上の注意

- (1) 学会抄録は電子メールでお送りいただいたものを総会事務局の方で編集した上で、印刷に回します。レイアウトや文字の大きさ、使用する書体などに関しては総会事務局に御一任ください。
- (2) 2名以上の演者による共同発表の場合には、当日の学会で実際に発表される方を筆頭演者にする、すなわち一番はじめに記入して下さい。
- (3) 総会事務局における管理の都合上、作成した『演題抄録ファイル』と『演題登録ファイル』には(例1)や(例2)にならって、発表者の名前を含めた名前をつけて下さい。
  - (例1) 山田太郎さんが発表するのであれば、それぞれに『山田太郎抄録.doc』と『山田太郎登録.doc』という名前をつける。
  - (例2) 田中花子さんが演題を2つ以上発表するのであれば、『田中花子抄録1.doc』と『田中花子登録1.doc』、『田中花子抄録2.doc』と『田中花子登録2.doc』、・・・という名前をつける。
- (4) その他の注意事項
  - ① 学会発表の際には発表の対象となる方や団体の人権や尊厳を尊重し、倫理的問題についても考慮する必要があります。よって、発表に際しては文部科学省と厚生労働省の作成・公表した『疫学研究に関する倫理指針(平成20年12月01日一部改正)』『臨床研究に関する倫理指針(平成20年7月31日全部改正)』や『個人情報保護法』などといったような関連法規の趣旨を十分理解した上で、発表対象である個人や団体が

特定されることなく、匿名性が守られるようにするなどといった適切な措置を講じて下さい。倫理的問題に関する配慮に欠けるものとプログラム委員会が判断した場合には訂正の上、再提出していただくか、あるいは発表をお断りすることがあります。

- ② 今回の学会においては、Windows パソコンによる『PowerPoint』を利用した発表は可能です。スライド、オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）、ビデオなどは用意がありません。また、使用するパソコンやプロジェクターは当学会で準備させていただくものに限定するものとします。個人のパソコンは持ち込みできません。なお、データ処理方法の詳細については、演題採否決定後にお知らせいたします。

### 3. 応募締め切り

一般演題，交流コーナー，夜間集会とも

**2010年5月31日午後 17時00分** までに演題申し込み用メールアドレスに登録してください。それ以降は原則として受け付けません。

演題申し込み登録完了後、事務局の方から原則として電子メールにて登録完了の通知（演題登録確認）を御返信いたします。

### 4. 演題の採否

演題の採否及び扱いについては**第53回総会事務局にご一任願います。**演題の採否は2010年7月末日頃までに、原則として電子メールにて御返信いたします。

### 5. その他

参加費の金額、および事前振り込みの方法は現在検討中です。決定しだい第53回日本病院・地域精神医学会総会ホームページ<<http://www.byochi.org/>>、および後日学会員の方に送付されるプログラム、および抄録集に掲載される予定です。

## ● 演題登録に関するお問い合わせ先 ●

〒175-0091 東京都板橋区三園 1-19-1  
医療法人 社団翠会 成増厚生病院 内  
第53回 日本病院・地域精神医学会総会事務局  
事務局長：辻脇邦彦

**E-mail: [byochi53@mhcg.or.jp](mailto:byochi53@mhcg.or.jp)**

**URL <http://www.byochi.org/>**

## 演題申込用キーワード番号

1. 孤立
2. 多様性
3. チーム医療
4. 病院リハビリテーション
5. 地域リハビリテーション・地域ケア
6. デイケア・ナイトケア
7. ネットワーク
8. ケアマネジメント
9. 復職支援
10. 就労支援
11. 訪問活動（看護）
12. 当事者活動
13. 医療機関の機能分化
14. インフォームドコンセント
15. 情報開示と保護
16. 行動制限
17. 薬物療法
18. SST
19. 認知行動療法
20. 心理教育
21. 医療事故・リスクマネジメント
22. 権利擁護
23. 偏見と差別
24. メンタルヘルス（地域・職場・学校）
25. 統合失調症
26. 気分障害
27. アディクション
28. 認知症
29. ストレスケア
30. 児童思春期・青年期
31. PTSD
32. 精神科救急医療
33. 精神科急性期医療
34. 精神科慢性期医療
35. 障害者福祉
36. EAP
37. 精神科病院
38. 精神科診療所
39. 総合病院精神科
40. 保健所・福祉事務所
41. 精神障害者社会復帰施設
  - ・精神障害者生活訓練施設
  - ・精神障害者通所授産施設
  - ・精神障害者入所授産施設
  - ・精神障害者小規模通所授産施設
  - ・精神障害者福祉ホーム
  - ・精神障害者福祉ホームB型
  - ・精神障害者福祉工場
  - ・精神障害者地域生活支援センター
  - ・精神障害者グループホーム
  - ・精神障害者小規模社会復帰施設
  - ・精神障害者ショートステイ施設
  - ・精神障害者共同作業所
  - ・その他社会復帰施設等
42. その他

演題名 (75字以内)			
発表者 (8名以内)	所属	職種・立場	氏名
抄録本文 (1000字以内)			

第 53 回 日本病院地域精神医学会 演題登録ファイル

演題名 (75 字以内)			
発表者名	所属	職種・立場	氏名 (ふりがな)
連絡先 メールアドレス			
FAX 番号			
発表形式	<p style="text-align: center;">一般演題 ・ 交流コーナー ・ 夜間交流集会</p> <p style="text-align: right;">(いずれかに丸をつけてください)</p>		
キーワード番号			
その他連絡事項			

日本病院・地域精神医学会 入会申込書

ふりがな ( )
氏 名 ( )
所属機関名
住所 〒
TEL
FAX
自宅住所
住所 〒
TEL :
FAX :
通知の・雑誌の送付先： 所属機関 ・ 自宅 (どちらかに○)
会員名簿への自宅の掲載の可否 : 可 ・ 否 (どちらかに○)
事務局への連絡事項